

ビジネスの大転換

社会が激動するなか、ビジネス界も大きく揺れ動いています。そこで今回「ビジネスの大転換」をテーマに3つの講座を設けました。イノベーションの不発をもたらす3つの落とし穴と、ビジネス革新のための新たな paradigm (見方・考え方) について取り上げます。いずれも一話完結型です。「大転換」という以上、従来のビジネス用語、枠組み、思考法ではとらえきれない方向に、ビジネスが動き始めています。企業、NPO、行政を問わず、新たな展望を描き、これからをつくるひとのために用意しました。

6 / 1 (水)
10 / 12 (水)

「強いリーダー」の落とし穴

19:00 ~ 20:30

11 / 9 (水)

「組織に所属する」落とし穴

19:00 ~ 20:30

12 / 14 (水)

「Plan-Do-See」の落とし穴

19:00 ~ 20:30

リーダー・フォロワー関係の限界

先行きが不透明な時代には、「強いリーダー待望論」が現れるようです。カリスマ待望論といっても構いません。しかし、強いリーダーを待望するがぎり、積極的な「当事者」は育ちようがありません。リーダー・フォロワー関係のマイナス面と、多様な知性を活かす新たな「知と方法」についてご案内します。

「組織人間」の限界

一「組織への過剰適応」と「組織内鈍化」一

ひとりの人間を大学で預かるのは、わずか4年です。企業は、その後10年、長ければ30年を預かるはずですが、企業は、社員個人の人的成長と成熟、進化と転換にほとんど寄与しているようには思えません。「組織人間」の限界と、新時代にふさわしい「人と場」のスパイラルな関係についてご案内します。

「目標達成・計画遂行型」

ビジネスの限界

はじめからわかっている結果、あるいは目標として目指していたことが予定期限内通りに実現しても、じつはたいした興奮や新しい経験にはならないものです。「目標達成・計画遂行型」ビジネスの落とし穴と、イノベーションを創発するための、もうひとつの思考法についてご案内します。

● 講師

設楽 剛 (Tsuyoshi Shidara, Ph.D.)

設楽剛事務所 代表

慶應義塾大学 博士〔政策・メディア〕

慶應義塾大学 SFC 研究所 上席所員

● 慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科修了後、シンクタンクに所属し、コーポレート・ブランディングに携わる。LINE等の母体企業であるハンゲームジャパンの創設メンバー。初代チーフ・マーケティング・オフィサー (CMO) 兼 副社長を経て、設楽剛事務所を設立。革新型経営者のアドバイザー。今後の大きな展望と方向性をイメージできるよう、新たなビジネス・パラダイム (ビジネスの見方・考え方) の導入・形成に取り組んでいる。対話的に未来構想を描く「ナラティブ・アプローチ」を重視。

● 論文 (査読付) に、「物語ブランディングの政策効果」(政策情報学会)、「ブランディングにおける物語効果」(情報文化学会)。

● 公式サイト: archipelagos.jp



会場: 公益財団法人 国際文化会館

〒106-0032 東京都港区六本木 5-11-16

電話: 03-3470-4611 URL: i-house.or.jp

● 申込み: ウェブよりお申し込みください。

www.archipelagos.jp/triptych2016.html